

【将来像】

【基本理念】

【基本目標】

【施策の方向】

【達成された姿】

誰の人生の最期もが
住み慣れた地域で
自分らしい暮らしを
地域包括ケア社会
で続けられること

見守り、つながり、支え
合い、一人一人が尊重
される地域づくり

基本目標 1
住民の絆が深まり、地域
で支え合う共生のまち



基本目標 2
互いに認め合い、一人一
人が尊重され、地域で安
心して暮らせるまち



基本目標 3
地域社会とのつながりを実
感し、誰もが社会参加で
きるまち



1 見守り活動の充実

2 地域における
居場所づくり

3 地域で支え合う
人づくり

4 地域を支える
ネットワークづくり

5 福祉に対する理解の
促進

6 権利擁護の推進

【成年後見制度利用促進基本計画】

7 生活に困窮する人や不安
を抱えている人への包括
的な相談支援の充実

8 誰もが参加できる
地域づくり

【再犯防止推進計画】

9 多機関の協働による
支援体制の充実

住民同士が、日頃からのあいさつや何か気になることがあった時の声掛けなどを通じて、お互いにゆるやかな見守りをする関係ができています。

地域内の至る所に気軽に集える居場所があり、世間話やおしゃべりをしながら楽しい時間を過ごすことで、地域とのつながりが強まり、絆が深まっている。

「支え手」と「受け手」の関係を超えて誰もが活躍できる地域ができています。

地域の課題や社会資源が地域で共有され、地域を支えるネットワークが活用されている。

福祉の啓発や学習の機会が充実し、お互いに理解し、尊重し合える関係ができています。

全ての人々の人権が尊重され、自分らしい暮らしをすることができています。

身近に相談窓口があり、本人の状況に応じた継続的な支援が行われ、地域とのつながりが実感できています。

関係機関が相互に連携・協力して支援することで、地域社会とつながりを実感し、安心・安全・快適に暮らすことができている。

医療・介護・福祉などの関係機関や地域につながる支援ネットワークがあり、複雑化・複合化する課題やニーズに対して、必ず支援につながる社会ができています。

地域包括ケア社会の実現

取り組むべきSDGsの目標

